

戦

評

大会名 第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子決勝

会場名： 一関市総合体育館

主審： 小野寺 太

副審： 山岸 恵子

試合結果

盛岡女子 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 15 \\ 25 - 11 \\ 25 - 13 \\ - \\ - \end{array} \right\}$ 0 高田

戦評 試合時間 0 時間 59 分

第1セット、盛岡女子はサーブで高田のレシーブを乱し、2番関口のスパイクでリズムをつかみ終始リードしたままこのセットを先取する。

第2セット巻き返したい高田は、1番井戸端、10番井上にボールを集め反撃に出る。中盤、10番井上のサービスエースや5番佐藤のスパイクポイントなどで8-10と2点差まで追いつけるも反撃はここまで。このセットも盛岡女子がものにした。

第3セット序盤、センター4番大橋のブロックや速い攻撃で反撃を試みる。一方、盛岡女子はエース5番金野の力強いスパイクや1番中村のスパイクで徐々に点差を広げる。終盤、高田は10番井上、13番関口のサイドからの攻撃で追いつがるが、最後は盛岡女子途中出場の16番亀井の巧みなスパイクで2年連続全国大会への切符を手にした。

7～10行にまとめること。

戦評者： 澤田 力

岩手県バレーボール協会 審判委員会